



農業用ドローンR10・R17V3 水稻用除草剤散布ボート ciBoat

ヒノマル(株)
営業本部 アグリサポートセンター

会社紹介

『農業の課題を解決するプロ集団』

社名 : ヒノマル株式会社

所在地 : 熊本県熊本市中央区九品寺5-7-29

代表 : 安武広信

設立 : 1947年2月6日

資本金 : 1億円

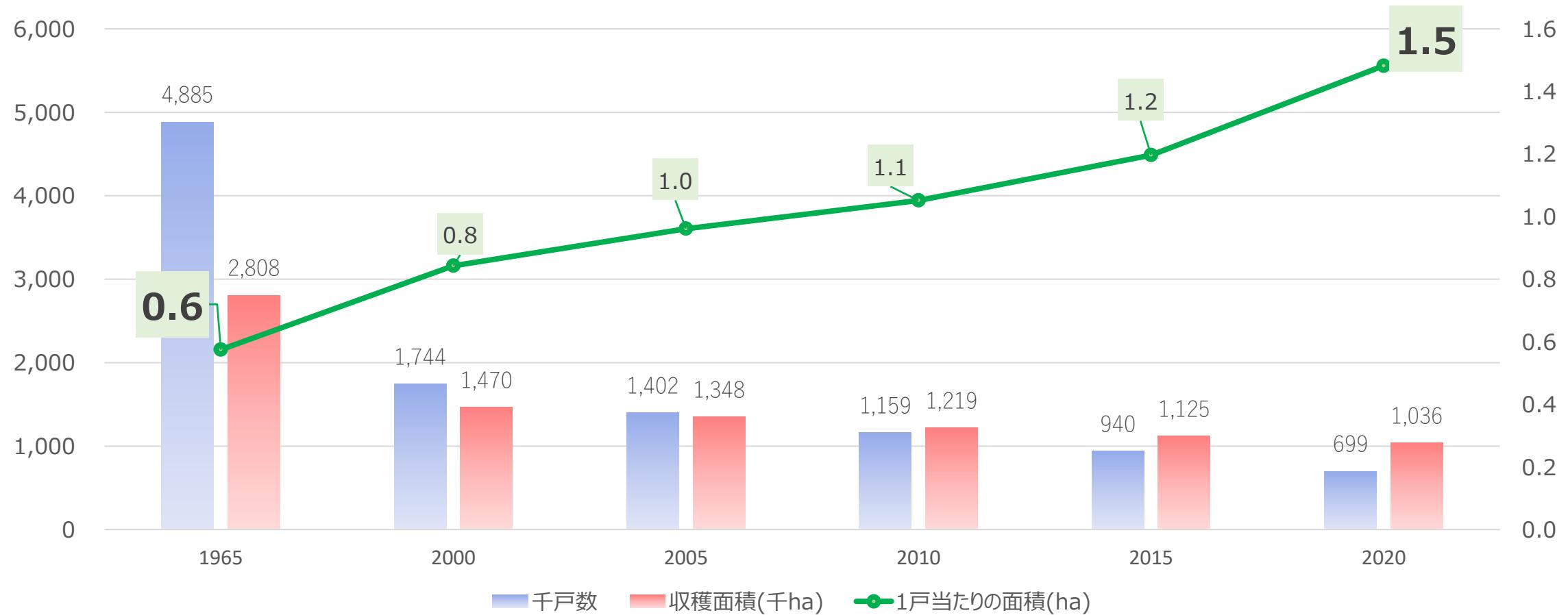
従業員 : 100名





なぜ、スマート農業か？

水稻農家戸数と規模の推移①

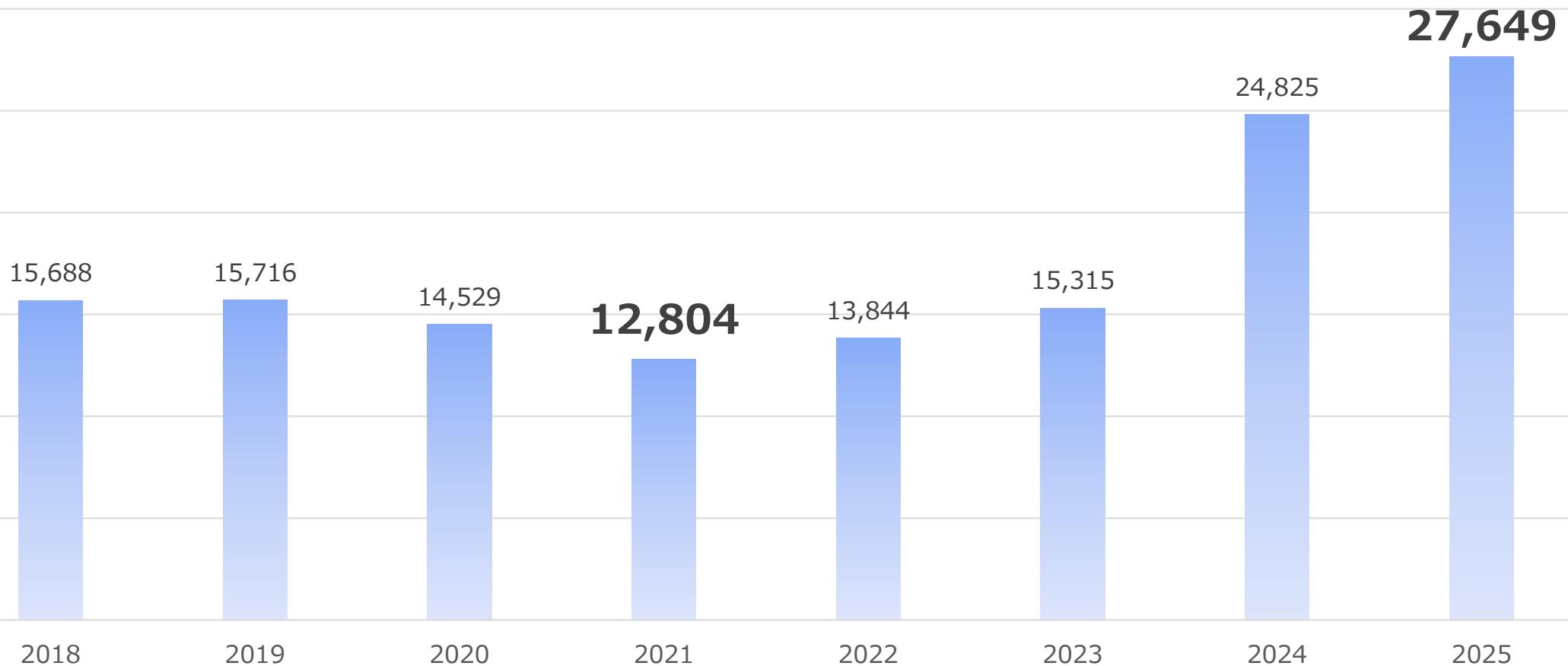


水稻農家戸数と規模の推移②

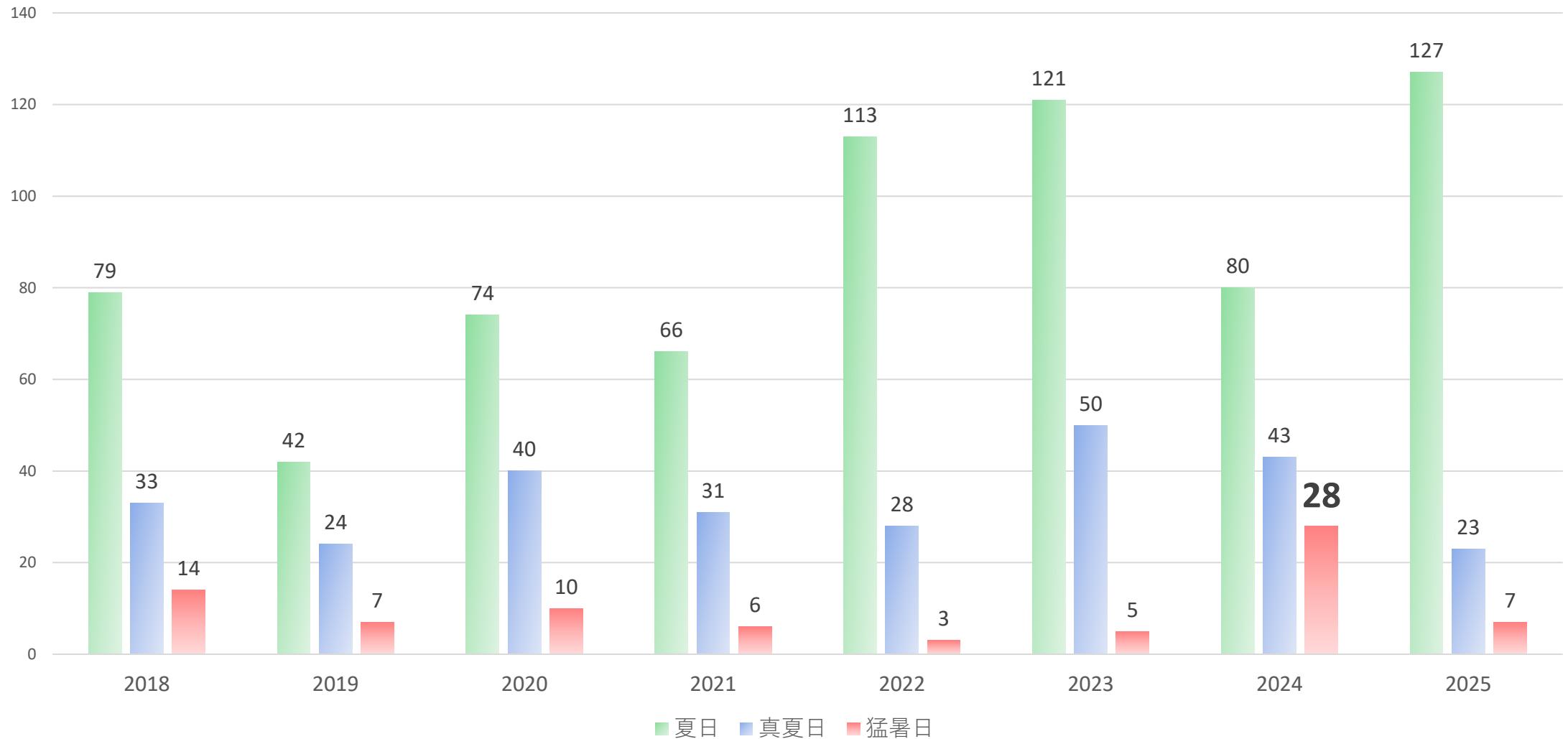
- ・農家戸数、収穫面積ともに1965年に比べ大幅に減少
- ・しかし、1戸当たりの収穫面積は1965年の2倍以上
⇒規模は大幅に拡大し負担が大きくなっている

『スマート農業で超省力化していく必要がある』

米価（主食用米の価格動向）



猛暑 (熊本市)





楽に早く防除を終わらせましょう！



ドローン

ドローンの導入メリット

- ・水稻防除の省力化ができる
手動散布：1.5時間程度
ドローン：10分
- ・圃場に入らずに防除・施肥が可能
(雨上がりのぬかるみを気にせず防除・施肥できる)



農業用ドローン

► R-10

タンク容量は**10Lで一度に1haの本田防除が可能**です。バッテリー1つで**約25分の飛行が可能**で、タンクに薬液を載せ替えることで2ha散布することも可能です。（17LタイプのR-17V3もあります）

R-10は初期除草剤、本田防除、肥料散布が可能で、R-17V3ならそれに加え粉剤散布、水稻直播も可能です。

さらに、機体重量は**15.5kg**で一人で持ち運ぶことも可能です。

大分県大分市のメーカーが販売・製造する**国内製造ドローン**です。

希望小売価格 ¥2,700,000-/式



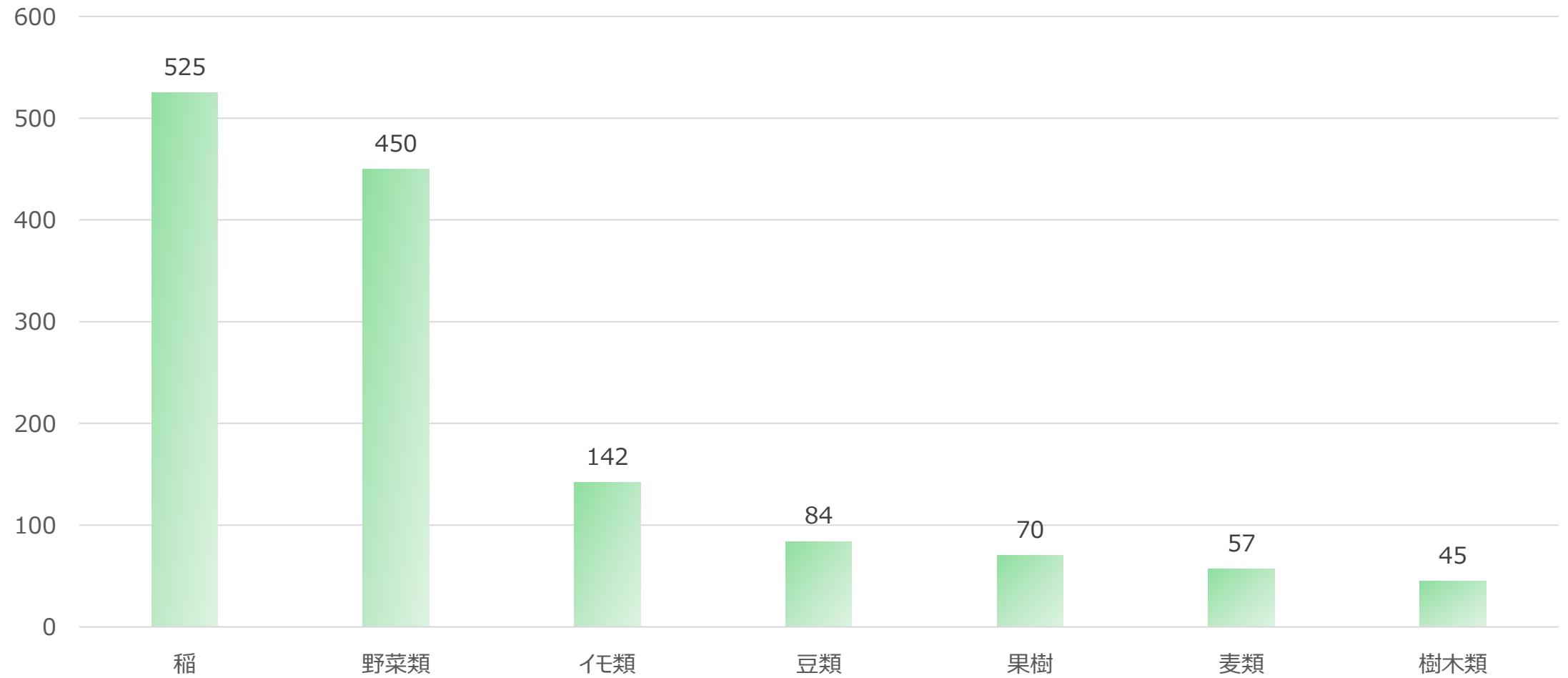
R-10

希望御小売価格 ¥3,700,000-/式



R-17V3

作物別ドローン登録農薬数



リモートセンシング（ドローン）

- ドローンに搭載した特殊なセンサー（リモートセンシング技術）を用いて農地や作物の状態を上空から計測・分析し、そのデータに基づいた精密な農業（精密農業）を行うことです

メリット	デメリット
生育状況のモニタリングと管理	初期費用
可変施肥（ピンポイント施肥）	専門知識
病害虫の早期発見と対策	
収穫量予測と経営判断	





ciBoat

ciBoatの導入メリット

- ・水稻除草の省力化ができる
手作業時代：50時間
2020年代：1時間程度
散布ボート：30秒
- ・中後期の除草剤散布を減らせる可能性がある
田植同時処理では、乗運管理機の車輪跡から雑草が生えてくる
⇒ciBoatなら田面に均一に散布ができ、散布回数を減らせる
- ・楽しく除草ができる

2020年代



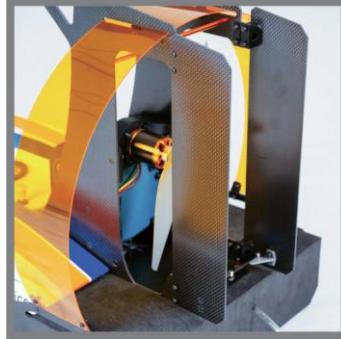
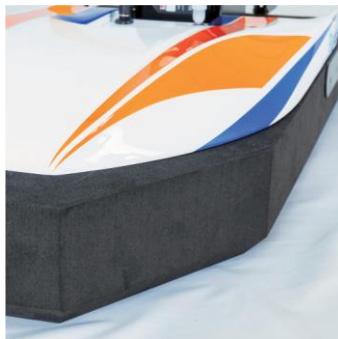
散布ボート



水稻用除草剤散布ボート

► ciBoat

水稻定植後（目安で約2週間前後）に初期除草剤（**フロアブル剤**）を投入し、遠隔操作で除草剤散布を行うことが可能です。エンジン式に比べて音が静かで、稼働時間が**約40分**と長時間運用できます。さらに、機体重量は**5kg以下**と非常に軽量なため、**労力軽減**にも繋がります。また、水田に入って人力散布を行うと、足元付近の除草剤効果が不安定なのに対して、ボートを使用すれば、田面に凹凸ができるず**均一に散布**することができます。本製品は船上プロペラを推進力とするので、苗を傷つける心配は無用です。



(1). 鮮やかなボディカラーで視認性UP

3つのカラーリングからお好きな色を選べます。
オレンジ・ブルー・グリーンの3色展開

希望小売価格 ¥ 398,000-/台

(2). ツインラダーによる操作性向上

風の影響をより受けにくし、高い安定感を誇ります。



(3). カセット式バッテリーを採用

汎用性を広げるために、マキタ製18Vを採用しています。

(4). 薬剤投入を素早く

機体自体が液剤タンクとなっているため、より素早く薬液の投入が可能です。



その他のスマート農業と動画視聴

スマート農業



動画視聴



ご清聴ありがとうございました



チャンネル
登録！

宜しくお願い
します。

高評価！

